



自由クラブ
代表
稲吉 郭 哲

令和4年度予算大綱 について

問 ICT整備等の効果と子どもファーストの視点でどのような子供を育成していくのか。

答 学びの価値や活用まで考えを深め、将来にわたり学び続ける姿勢を育むことが大切である。

問 市民病院の新型コロナウイルス重症化防止への対応について伺う。

答 抗ウイルス薬の投与や抗体カクテル療法等を行っている。特に中和抗体療法については、発症後、早期治療が効果的なため医師会との連携で中和抗体薬の積極的投与治療の予約体制を整えた。今後地域連携体制づくりの改善を重ねていく。

問 津波注意報等、防災行政無線でJアラートを活用した訓練を実施すべきではないか。

答 Jアラートの放送時、携帯電話等に通知されることと放送の種類等を改めて周知していきたい。また、津波警報等のサイレン音を用いた訓練も含め、今後の訓練内容等を検討していきたい。

問 新たな企業用地造成や企業立地支援策について、今後の考えは。

答 働く場の確保のため、企業誘致、支援は非常に重要と認識している。引き続き、産業界の意見を聞き、用地造成や支援策も議論し、必要に応じて市産業振興ビジョンに定め、有効的施策の取組に積極的につなげていきたい。



公明党市議団
代表
伊藤 勝 美

令和4年度予算大綱 について

問 子どもファーストの視点で、未来の蒲郡を担うために、具体的にどんな人材像を想定しているのか。

答 過去に未経験の新たな課題に対しても、他人を尊重し、多様性を認め合い、対話・会話を通して解決・乗り越え、地域社会の発展に貢献できる人材が重要と考える。

問 安心・安全は幸せの基本Ⅱ「市民の」いのち「を守る」について、各施策への意思決定プロセスの手法は。

答 手法としてOODAループがある。PDCAサイクルとの違いは、観察から始まるので、あらかじめ指針がなくても、まず外部の状況を観察してから判断、実行でき、素早く

臨機応変な対応ができる。PDCAサイクルと合わせて、OODAループも相互補完的に活用したい。危機管理の観点からは自然災害等やそれ以外の危機事案への体制を整えるため、危機管理指針の策定を進めている。

問 働くことが地域の活性化につながる「地場産業などの振興」について、計画される各振興策等の実施効果の見込みは。

答 産業振興施策の総合的かつ計画的な実施で多くの「人財」が育成され、その人財が交流するまちとなり、その人流拡大が活性化につながると考える。



市政クラブ
代表
鎌田 篤 司

商店街を含む市内小規模事業者活性化策

問 新型コロナウイルスの影響に対する経済対策等について伺う。

答 デジタルを活用した商品券事業やネット販売等の販路拡大支援を実施する。創業支援も新制度を設け、強力に取り組んでいく。

市観光協会との連携

問 協会の法人化への動きについて伺う。

答 法人化設立委員会を設置、組織体制を検討し、令和4年度に新法人設立、5年度に新法人へ移行できるように引き続き支援していく。

各地区の郷土の歴史を学ぶ事の重要性

問 5年に徳川家康が題材の大河ドラマがあり、蒲郡にも関係があ

る。子供たちへ郷土の歴史を教えることは大事だが、考えを伺う。

答 ドラマ放送は戦国、江戸時代の蒲郡を知り、歴史への興味を深め、郷土愛を育む絶好の機会であり、子供たちや市民に郷土の歴史を学ぶ場を提供していきたい。

問 戦前の三河地震を想定した災害対策

答 具体的な被害想定が難しいため、現状は県の被害予測調査に基づき、地震・津波対策を進めていくことが内陸直下型地震対策にも寄与する。



竹島